

◎以下の項目のいくつかに当てはまる子どもさんが対象となります。

子どもたちの気になるサイン



しつけや育て方の問題だけで起こるものではありません。早い段階に特性を知ることによって適切な対応が可能になります。

年齢による「サイン」のあらわれ方

0～2歳

何か違うなと感じる時期。抱っこを嫌がるなど気になることがある一方、手がかからず、育てやすい子と感じることも。

視線を合わせない
抱っこを嫌がる
一人で寝かされていても平気
あやしても笑わない
泣かない
言葉が出ない
いつも泣いている
寝つきが悪い、寝てもすぐ目を覚ます



○話を始めると一方的にしゃべり続け、会話のキャッチボールができない。



3～4歳

「気になる」部分が目立ち始める時期。かたくなであったり、言うことがなかなか伝わらなかったり、育児の難しさを感じることも。

偏食が激しい
名前を呼んでも振り向かない
特定のおもちゃなどに執着する
何度言っても言うことを聞かない
とにかく落ち着きがない
一人で遊ぶほうが好き
一人にされても泣かない



○大きな音や機械音などを嫌がる。
○髪や肌に触られるのを嫌がる。
○においに敏感。
○食感にこだわる。
○味覚・聴覚・触覚・嗅覚・視覚などが敏感すぎる。周囲の人が気づかないような刺激にも、極端に反応することが多い。
・自分で決めたルール・やり方にこだわる。など

5～6歳

集団生活の中で特性がよりはっきりしてくる時期。5歳児健診や就学前健診などで診断されることも。

言葉が広がらない
ものごとに強いこだわりがある
集団行動が苦手
周りの人の気持ちがわからない
興味の対象がコロコロ変わる
しつけができない
すぐにかんしゃくを起こす



○不器用ではさみやクレヨンなどの道具を上手く使えない。



○持っていくものを準備しているのに忘れ物が多い。

- 常同行動（同じ行動の繰り返し）
- ドアを何度も開け閉めしたり、目の前で手の平をひらひらさせたりするなど、同じ行動や動作を繰り返す。
- 迷子になっても平気。親から離れても、自分の好きなおもちゃ売り場などにおいて、不安がらずにケロッとしている。



- 登園・登校をしびる。
- 人とうまくかかわれない。
- 場の空気が読めない。
- 集団になじめない。
- 初めてのことや、急な予定変更に対応できない。
- 自分で決めたルール・やり方にこだわる。

※引用文献 ナツメ社
「発達障害のある子と家族のためのサポートBOOK」岡田俊：著

【お問い合わせ】 予約受付は電話で、「NPO法人グランマール」へ

◎NPO法人 グランマール
丸亀市発達障害児支援相談窓口 ほっぺ
(ひまわりセンター)

電話(0877)85-6613
(9:00～12:00 13:00～16:00)
E-mail: npochiiki@yahoo.co.jp



ホームページ: <http://hoppe-marugame.com>

◎丸亀市教育委員会 教育部幼保運営課

電話(0877)35-8892
(8:30～17:15)